

4. 履修モデル

各科目の個々の内容については、シラバスを閲覧し、授業の目的や到達目標、各回の授業内容等を確認することで概要が把握できます。しかしながら、神学部でそれぞれの夢や希望をもって学ぶにあたり、「なかでも、特に〇〇に興味や希望があり、それを中心に学んでいきたい」ときに、全体としてどのような科目があり、何を履修すればよいか、これはシラバスのみではわかりづらいです。そこで夢や希望を叶えるための履修計画の参考として、以下にいくつか具体例を挙げます。

(留意事項)

- 必修科目は可能な限り、履修基準年度のとおり単位を修得すること。
- 「研究演習 A～D」は、2 年次に事前説明会を開催のため除外している。

【ケース 1】教会の牧師・伝道者になりたい

キリスト教伝道者コースに所属している場合は、当該コースに定められた必要単位を修得して卒業することで、以下の①～③が可能になります。

- ① 日本基督教団の教師検定試験 B コースの受験資格を得ることができる
- ② 説教を中心とした教会での働きを担える能力を身につけることができる
- ③ さらに神学研究科前期課程に進学し、修了すると日本基督教団の教師検定試験 A コースの受験資格を得ることができる

【ケース 2】中学校・高等学校の教師になりたい

神学部の提供する教職課程の履修を通じて得られる教員免許は、宗教（中学一種・高校一種）（聖書科）と公民（高校一種）です。その他の教科については「免許状取得のための他学部履修」手続きが必要です。

※ いずれも『教職課程等履修要項』を参考にしてください。

【ケース 3】キリスト教の基礎となる「聖書」について学びたい

1 年：「新約聖書時代史」

2 年：「旧約聖書時代史」

(旧約聖書についてさらに深く勉強したい)

2 年：「聖書ヒブル語Ⅰ・Ⅱ」「旧約聖書の思想 A・B」

3 年：「聖書ヒブル語Ⅲ」「旧約聖書の解釈 A・B」

(新約聖書についてさらに深く勉強したい)

1 年：「新約聖書ギリシャ語Ⅰ」

2 年：「新約聖書ギリシャ語Ⅱ・Ⅲ」「新約聖書の思想 A・B」

3 年：「新約聖書の解釈 A・B」

【ケース 4】キリスト教の建築、美術を学びたい

2 年：「キリスト教と芸術概論Ⅰ」「キリスト教と美術」「キリスト教と建築」

3 年：「キリスト教と表象文化 A・B」

※ なおキリスト教芸術には聖書の物語や人物、キリスト教の歴史上の出来事などが主題となっていることが多いので、聖書や歴史の勉学も重要です。

【ケース5】哲学、思想に興味があって、キリスト教と哲学について学びたい

1年：「西洋哲学史A・B」

2年：「キリスト教思想史A・B」

3年：「現代神学A・B」「現代神学の諸問題A・B」「哲学とキリスト教A・B」

「現代思想とキリスト教A・B」

※ なおキリスト教の教理、教義については、以下の科目が挙げられます。

2年：「キリスト教教理の体系Ⅰ」「プロテスタント神学概論」

※ 生命倫理や環境問題などについては、以下の科目が挙げられます。

3年：「応用倫理とキリスト教A・B」

【ケース6】キリスト教に加えて、世界に広がる諸宗教を学びたい

1年：「日本宗教史A・B」「現代社会における宗教A・B」「宗教学概論Ⅰ」「東アジアの宗教」

2年：「世界の諸宗教A・B」

3年：「キリスト教と諸宗教A・B」

※ 学外機関である「宗教文化教育推進センター」が所管する資格「宗教文化士」における認定試験への受験資格を得るには、上記科目を含む所定の科目から16単位を履修する必要があります。別に受験資格科目として認定される授業科目については、神学部ウェブサイトを確認するか、運営担当教員に相談してください。

※ 神学部ウェブサイト (https://www.kwansei.ac.jp/s_theology/career/bunkashi/)



※ 宗教文化教育推進センター (<https://www.cerc.jp/>)



【ケース7】キリスト教と福祉を学びたい（「ディアコニア・プログラム」に登録し、修了したい）

2年：「ディアコニア概論A・B」「キリスト教霊性論」「キリスト教と社会A・B」

3年：「対人援助技術演習A・B」「ディアコニア・ワークショップA・B」「キリスト教社会実習」

4年：「ディアコニア・ワークショップC・D」

※ 「ディアコニア・ワークショップ」は、ディアコニア・プログラムに登録しなければ履修できません。

【ケース8】教会の礼拝や音楽、教会の仕組みを学びたい

2年：「キリスト教と音楽」

3年：「賛美歌学」「礼拝学概論」「牧会学概論」